

## グループ 1

線路の切り替えスイッチのそばにいるあなたは、とんでもない光景を目の当たりにしてしまいました。

あなたの右方向から石をたくさん積んだトロッコが猛スピードで暴走しています。ブレーキが故障しているのか明らかに異常なスピードです。

とうてい今から止めることはできません。ただ線路の切り替えを行えば進行方向を変えることができます。

線路の先には 5 人の作業員がいます。5 人ともトロッコには全く気づいておらず、おそらく避けることはできないでしょう。このままではトロッコが突っ込み、5 人は死んでしまいます。

あなたは切り替えスイッチの存在に気がつき、これを切り替えて 5 人を助けようと思い立ちます。あなたは切り替えスイッチに近づき勢いよくスイッチに手を伸ばします。

しかし何ということでしょう。あなたは一瞬、切り替える先の線路のほうに目をやり、様子を確認しました。すると、線路の先には 1 人の作業員がいるではありませんか。スイッチを切り替えれば、この 1 人の作業員が死んでしまいます。

あなたはこの 6 人とは面識がなく、6 人とも何の罪もない人です。ただ、悲惨な現場に居合わせてしまっただけです。あなたもたまたまこの現場に居合わせてしまっただけで、そこにスイッチがなければただの傍観者の一人です。

実際には「5 人もいればだれかが気づくだろう」とか、「大声を出して危険を知らせる」とか、いろいろな方法を考えてしまうところですが、ここではスイッチを切り替えること以外あなたがすることはなく、作業員は皆トロッコの暴走に気づいていない状態とします。

あなたはスイッチを切り替えますか？

それともそのままにしますか？

「暴走トロッコと作業員」

(原典：Philippa Foot, The problem of abortion and the doctrine of double effect, Oxford Review 5:5-15, 1967. 出典：北村良子, 「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」, 彩図社, 2017 年.)

決断と、その理由をまとめて発表してください。

## グループ 2

線路の切り替えスイッチのそばにいるあなたは、とんでもない光景を目の当たりにしてしまいました。  
あなたの右方向から石をたくさん積んだトロッコが猛スピードで暴走しています。ブレーキが故障しているのか明らかに異常なスピードです。

とうてい今から止めることはできません。

線路の先には 5 人の作業員がいます。5 人ともトロッコには全く気づいておらず、おそらく避けることはできないでしょう。このままではトロッコが突っ込み、5 人は死んでしまいます。あなたはこの状況をどうにかする方法はないかとあたりを見回します。

すると、橋の上に、自分の他にもう 1 人、男性がいることに気がつきました。かなりの巨漢で、しかも見るからに重そうなリュックを背負っているではありませんか。この男を突き落とすことができたなら、トロッコを止めることができます。

しかしその場合、男は確実に死んでしまいます。

太った男は、作業員 5 人が行っている作業が気になっているらしく、大きく身を乗り出して夢中になっています。どうやらこの男性も暴走トロッコには気がついていないようです。

今なら確実に太った男を線路上に落とすことができるとします。

あなたは太った男を下に突き落としますか？

それともそのままにしますか？

なお、あなた自身が飛び込んでもトロッコは止まらず、あなたを含めた犠牲が 6 人になるだけとわかっているとします。

実際には太った、しかも重そうなリュックを背負っている男を突き落としたからと言ってトロッコが止まるとは限らないでしょう。しかも、特に小柄な女性であれば、こんなに大きな男を突き落とせるわけがないし、もみ合いになって自分が落とされると考えるかもしれません。

しかし今回の思考実験では、この太った男を突き落とせば確実にトロッコは止まるし、あなたが突き落とす行動をとれば、もみ合いになることなく確実に突き落とせると仮定します。

また、あなたが起こした行動によってあなたが罪に問われることはないとします。

「暴走トロッコと作業員」

(原典：Philippa Foot, The problem of abortion and the doctrine of double effect, Oxford Review 5:5-15, 1967. 出典：北村良子, 「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」, 彩図社, 2017 年. )

決断と、その理由をまとめて発表してください。

### グループ 3

線路の切り替えスイッチのそばにいるあなたは、とんでもない光景を目の当たりにしてしまいました。あなたの右方向から石をたくさん積んだトロッコが猛スピードで暴走しています。ブレーキが故障しているのか明らかに異常なスピードです。

とうてい今から止めることはできません。ただ線路の切り替えを行えば進行方向を変えることができます。

線路の先には 5 人の作業員がいます。5 人ともトロッコには全く気づいておらず、おそらく避けることはできないでしょう。このままではトロッコが突っ込み、5 人は死んでしまいます。

幸い、あなたは線路の切り替えスイッチのそばにいます。このスイッチで線路の切り替えを行えば進行方向を変えることができます。

あなたはとっさに切り替えスイッチに手を伸ばしました。

あなたはスイッチを切り替えようとしますが運の悪いことに切り替えた先の線路にも 1 人の太った作業員が作業をしています。あなたが切り替えを行えば、この太った作業員はトロッコをよけることなく、ぶつかって命を落とします。

しかし、トロッコは太った作業員にぶつかった場合は確実に停止するでしょう。そうすると、線路の先にいる 5 人の作業員は助かります。

線路はループしており、一度 2 つに分かれた路線はすぐに再び合流します。車体を止めておくような場所なのでしょう。

あなたはこの 6 人とは面識がなく、6 人とも何の罪もない人です。ただ、悲惨な現場に居合わせてしまっただけです。あなたもたまたまこの現場に居合わせてしまっただけで、そこにスイッチがなければただの傍観者の一人です。

実際には「5 人もいればだれかが気づくだろう」とか、「大声を出して危険を知らせる」とか、いろいろな方法を考えてしまうところですが、ここではスイッチを切り替えること以外あなたができることはなく、作業員は皆トロッコの暴走に気づいていない状態とします。

あなたはスイッチを切り替えますか？

それともそのままにしますか？

「暴走トロッコと作業員」

(原典：Philippa Foot, The problem of abortion and the doctrine of double effect, Oxford Review 5:5-15, 1967. 出典：北村良子, 「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」, 彩図社, 2017 年.)

決断と、その理由をまとめて発表してください。

#### グループ 4

あなたはとある病院の医師です。

この病院には臓器提供を待つ 5 人の患者がいます。それぞれ別の臓器を必要としており、臓器提供がなければまもなく死んでしまうでしょう。

そこに、健康そうな男性が 1 人健康診断に訪れました。

医師であるあなたは、だれにも気づかれることなくこの男性を安楽死させ、その臓器を 5 人に提供することができます。男性にも事前に告知するといった、恐怖を与えるようなことも一切しません。

もし、5 人の命を助けるために、健康そうな 1 人を犠牲にして、臓器提供を待つ 5 人を助ける選択をしたら、許されるでしょうか？

「臓器くじ」

(出典：北村良子，「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」，彩図社，2017 年。)

許されるか否かと、その理由をまとめて発表してください。

## グループ 5

あなたはとある病院の医師です。

この病院には臓器提供を待つ 5 人の患者がいます。それぞれ別の臓器を必要としており、臓器提供がなければまもなく死んでしまうでしょう。

全人類の中から臓器提供者をくじ引きで決めることにします。くじ引きで当たった人の臓器を、その臓器を必要としている患者に移植し、命を救うのです。くじで当たった 1 人の臓器が 5 人の患者に提供されます。

くじ引きは完全に平等に行われます。くじで当たる人は大統領かもしれないし、サラリーマンかもしれないし、犯罪者かもしれません。すべては平等です。

医師であるあなたは、だれにも気づかれることなく人を安楽死させ、その臓器を 5 人に提供することができます。男性にも事前に告知するといった、恐怖を与えるようなことも一切しません。

もし、5 人の命を助けるために、くじで当たった 1 人を犠牲にして、臓器提供を待つ 5 人を助ける選択をしたら、許されるでしょうか？

「完全平等な臓器くじ」

(出典：北村良子、「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」，彩図社，2017 年。)

許されるか否かと、その理由をまとめて発表してください。

## グループ 6

1 人の重症患者と、5 人の中程度の症状がある患者がいます。

ここに、その病の特効薬があるのですが、あいにく 1 つしか用意されていません。

5 人の中程度の症状がある患者は、今用意されている 1 つの薬を 5 人で分けることで 5 人全員が完治します。

1 人の重症患者は 1 人で薬をすべて使用し、完治します。

5 人の中程度の患者は今日明日の命というわけではありませんが、1 人の重症患者は一刻も早い治療が必要です。

あなたは、1 人の重症患者と 5 人の中程度の症状がある患者のどちらを助けますか？

「6 人の患者と薬」

(出典：北村良子，「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」，彩図社，2017 年。)

決断と、その理由をまとめて発表してください。

## グループ 7

とある病院に 6 人の患者がいます。

彼らは同じ会社に勤めており、1 人はプロジェクトリーダーで、残り 5 人はそのプロジェクトのメンバーたちです。

仕事で海外に来ていたところ、その地特有の重い病気にかかってしまいました。6 人は同程度の重症度で、薬を投与しないと近いうちに亡くなってしまいます。

そこに、プロジェクトリーダーが病気になったらしいという情報を知った会社から薬が届きました。病気になったのは 1 人かもしれないが、余分に送っておこうと考えた会社から 5 人分の薬が届きました。

プロジェクトリーダー宛に届いた薬だったので、早速医師はプロジェクトリーダーに薬を投与しようとしたのですが、事前の検査で、この薬が効きにくい体質であることがわかりました。

この 1 人が助かるには、5 人分の薬すべてを必要とします。

他の 5 人は効きにくい体質ではなく、通常通りの効果が期待できます。5 人分の薬があれば、この 5 人は命を取り留めます。

しかし、会社から追加で更に 5 人分の薬を送ってもらうには時間的に余裕がありません。

薬で救うことができるのは 5 人の命か 1 人の命のどちらかです。

薬が効きにくい 1 人と、残りの 5 人のどちらの命を助けますか？

「効かない薬」

(出典：北村良子、「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」，彩図社，2017 年。)

決断と、その理由をまとめて発表してください。

## グループ 8

ある村で大事件が起きています。

大罪を犯したという犯人を探して村人が暴徒化し、各々武器になりそうなものをもって気を高ぶらせているのです。

犯人とされている人はよそ者で、よそ者であるがため村人はなんとしてでも彼の息の根を止めてやろうと血眼になってその犯人を探しているのです。

村人たちも普段は他人を尊重する普通の人々です。

あなたはその犯人とされる男をかくまっています。彼は、本当は罪を犯しておらず、あなたはそれを知っています。

暴徒化した村人は荒ぶる気持ちを抑えきれず、あちこちの家に押しかけては犯人捜しを強行し、収まる気配がありません。

唯一村人たちを抑える方法は、あなたが無実のよそ者を彼らに差し出すことです。そうすれば差し出された無実のよそ者が殺されることで事態は収束します。

しかし、このまま何もせずに成り行きに任せると暴徒化した村人が暴れ、混乱の中で暴徒化した村人のうち 5 人が犠牲になることがわかっているとします。

無実のよそ者を差し出すか、暴徒化した村人のうち 5 人が死んでしまうのを黙ってみているか、どちらを選びますか？

「村のおたずねもの」

(出典：北村良子、「論理的思考力を鍛える 33 の思考実験」、彩図社、2017 年。)

決断と、その理由をまとめて発表してください。